

5章1節3 現代文(評論)「物語を発現する力」

授業者：酒井将平 2学期期末 2年生2クラス

本質的な問い	「物語を発現する力」に限界はあるか？ 佐藤雅彦(2011)『物語を発現する力』「考えの整頓」暮しの手帖社,p.45-55		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ①接続語に注目して文章の要点を関係づけることができる。 ②「物語を発現する力」を活用して、作品を創作することができる。 ③学んだ概念を他の「文脈」に当てはめて検討することができる。 		
論点 (深めるために)	「因果応報」は知っている。それでも、つい「悪い」ことをしてしまうのはなぜ？		
実践の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ①接続語に注目した学びのデザインにすることで、「読む」学びの大きな流れを改めて整理することができた。 ②創作活動を取り入れた楽しい学びを普段の授業の一コマにするには、一年間のデザインが大切であることがわかった。 ③異なる「文脈」に当てはめることの大切さと、担当者間の協力によって継続的な取り組みにできる可能性を感じた。 		
問いの構造化			
	Ideas	Connections	Extensions
導入展開の問い	<ul style="list-style-type: none"> ②AとBの間にどんな接続語が使われているか？ ④「物語を発現する力」に関して、筆者はどんな仮説を立てましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①「因果応報」という考え方にはどんないいことがあるだろう？ ③その接続語はどんな関係を表しているか？ 	
洞察を促す問い		<ul style="list-style-type: none"> ⑤「物語を発現する力」によって、本文の中の断片的なエピソードからどんなことが推測できますか？ ⑦「因果応報」を知っているのに、ついやってしまうのはなぜ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥「物語を発現する力」を用いて4コマ漫画を作ってみよう。
本質的な問い		<ul style="list-style-type: none"> ⑧「物語を発現する力」を物語以外に当てはめることは可能か？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨「物語を発現する力」に限界はあるか？
生徒の変容(ICEルーブリック)			
	Ideas	Connections	Extensions
教科・科目に特有の知識・技能	文中の接続語に注目して前後の内容の関係を特定することができる。	接続語に注目して文章の要点を関係づけることができる。	接続語を上手に使い、効果的な文章を書くことができる。
教科・科目に特有の見方・考え方	「物語を発現する力」について筆者の言葉を使って説明することができる。	「物語を発現する力」について、具体例を用いて例証することができる。	「物語を発現する力」を活用して、作品を創作することができる。
汎用的な能力	学んだ概念について説明できる。	学んだ概念について具体例を示すことができる。	学んだ概念を他の「文脈」に当てはめて検討することができる。